

発行日：平成27年9月1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会
一宮市観音寺1-15-10（大和公民館内） 電話：28-9006

おもいやり部会

大和町連区敬老会を開催します

一宮市・一宮市社会福祉協議会大和支会では75歳以上の方を対象に、9月13日午後1時～3時、大和中学校屋内運動場で「敬老会」を開催いたします。式典後例年のように慰安会（大和中学校 ブラスバンド演奏、琴演奏、フラダンス発表）を行います。今年はお楽しみ抽選会があります。

お祝い品のお受け取り方法など、詳しくは対象の方に案内状（はがき）をお送りしていますので、これをご覧ください。



昨年の敬老会アトラクション
大和中学校ブラスバンド演奏

安全安心部会

みんなで作ろう安全安心のまち

部会長 岩田進

本年より大和町連区地域づくり協議会が発足しました。

安全安心部会は、私たちの町が安全安心であることにより、地域の皆さんが健康で明るい暮らしができるようにすることを目的としています。

部会では防犯、防災、交通安全について話し合い、意見を出し合い、協議を重ねていきます。また皆様には活動内容を理解していただき、お力をお借りすることになります。ボランティア活動にも積極的に参加していただくよう、お願いします。

各部会との横のつながりを持ち、より良い行事ができるように、事業の改善改良に努めていきます。



大和連区交通安全会

交通安全会では、住民一人ひとりが、交通事故を未然防止するため交通ルールを守り、交通安全意識を高めること、老人と子どもを交通事故から守ることを重点に活動しています。

まず総会で、事業計画をたて、交通安全宣言をしました。一宮警察署からは、老人の事故だけでなく自転車の事故が増えており、これからは自転車利用に対する交通ルールを厳密に適用することや、「自転車も車としての自覚を持ち」安全に心がけてほしい、お話がありました。

次に主な活動内容です。

- ① 交通事故「0」の日に連区内の主要交差点において街頭監視に当たり、交通安全運動期間中には、小学生の登校時間に合わせ監視活動日を決めて交通事故防止にあたっています。
- ② 交通安全施設の整備に関し、小中学校からの要望をとりまとめ、警察署・県建設事務所・市当局との協議によりその実現を図っています。
- ③ 通学時の安全を確保するために必要な、交通安全用具の購入に対して助成し、交通安全意識の啓発に努めています。
- ④ 交通安全パレードや、シートベルト着用運動を実施しています。
- ⑤ 一宮市AV技術者の会の協力を得て、各町内会の公民館や集会場において交通安全に関する映画を上映し、安全意識の向上を図っています。
- ⑥ 学校や地域関係団体と協力し交通安全意識の高揚に必要な事業の推進に努め、住民が安全で安心して暮らせる、住みよい地域づくりを目指しています。

大和東分団優勝・消防警防技術発表会

6月28日(日)第11回一宮市消防警防技術発表会が、一宮市千秋町いちい信金スポーツセンター多目的グラウンドで行われました。

ポンプ車操法部門で大和東分団が優勝し、個人賞・一番員には早川正敏さんが選ばれました。

警防技術発表会の目的は、「消防団員の規律、消防機械器具の構通をはかり、もって火災防御の万全を期する」、というものです。

大和町連区には大和東分団と大和西分団の2つがあり、団員はそれぞれ職業を持っています。そのため練習は各自仕事が終わった後に行っています。忙しいなか週2~3回大会に向けて訓練を積重ねて来ました。また昨年大和東分団は第59回愛知県消防操法大会に一宮市代表として出場しております。消防団の活動で身に付ける知識、技術が私たちの住む地域や家族、友人を守る大きな力となるからです。消防団活動にご理解・ご協力よろしくをお願いします。 [安全安心部会]



活気健全部会

(公民館女性学習部)

女性学習事業に参加して

「豊かな人生のお手伝い」を学習主題として、大和公民館で6月2日より5講座を受講後、7月7日 41名の参加で社会見学に出発しました。

碧南の七福醸造ありがとうの里では「物作りにおいて”ありがとう”の言葉かけが大切で、それは家庭においても社会においても同じではありませんか?」とのお話に感銘を受けました。その後”ありがとう”と示された工場内を見学しました。



午後から、刈谷市美術館で刈谷在住の方の絵画や写真を観覧後、敷地内にある茶屋「佐喜知庵」で床の間の掛け軸と茶器の説明を受け、お抹茶とお菓子をいただき、いつもと違った優雅なひとときを送ることができました。

帰りは刈谷オアシスで今日のテーマ”ありがとう”の意味を込めて、皆さんご家族やご近所にお土産を購入されていました。また参加された皆さんと有意義な一日を過ごすことができ、役員一同も”ありがとう”と感謝の気持ちでいっぱいでした。

荊安賀東クリーンクラブ

ちょっと良い話

ボランティア活動アダプトプログラムをご存知ですか?一宮市公共施設アダプトプログラムとは、活動グループ個人が道路・公園・緑地の「里親」となって、一宮市と下記の事項について合意書をかわしてボランティア活動することです。現在連区内には15グループが参加しておりそれぞれの地区で活動しています。

ボランティアが里親として果たす役割

- 1.管理する公共施設(道路)内の空き缶や散乱ゴミ等の収集
- 2.情報の提供

市の役割

- 1.清掃道具等の提供
- 2.保険等への加入
- 3.統一デザインの帽子の支給

荊安賀東クリーンクラブ代表者の伊藤勝治さんにこの活動に参加した動機について話を聞きました。

かつて町内(荊安賀東)の代表の役を引き受けた際、一年間の行事を遂行するため町内を廻ってみて空き缶やポイ捨てゴミの多いことに気付き、始めは一人で拾い集めたそうです。徐々に仲間が増え、あるときこの制度の存在を知り、平成24年4月に参加を決めたそうです。

今では仲間も6人に増えて、毎月第2第4日曜日朝、1時間ゴミ拾いを続けています、とのことでした。また皆さんは自分の健康維持のためにも、ただ歩くだけよりもゴミ袋を持てば、目的ができて自然に身体を動かせるようになるから一石二鳥かなと思い、これからも永く続けられるように楽しくやっていくそうです。



主な行事予定

活気健全部会	10月11日(日)	連区運動会
安全安心部会	10月11日(日)	交通安全パレード

広報部会

皆様のご意見、原稿をお待ちしています。

一宮市観音寺1-15-10 (大和公民館内)

大和町連区地域づくり協議会 広報部会宛

原稿募集

